

令和4年度

公益社団法人 伊勢市観光協会

事業計画

## 公益社団法人伊勢市観光協会 令和4年度 事業計画

新型コロナウイルス感染症の波は2年以上にも及び、第6波を数えるに至りました。伊勢市の観光におきましても、波が押し寄せる度に「人流」が止まり、地域の観光と経済に甚大な被害を与えてきました。未だに先行きは不透明なままですが、着実に快方へ向かっていると思われまます。令和4年度は、日々変化する状況を分析し最善の選択を行う「ウイズコロナ期」、そしてパンデミックが終息するが、以前とは違う価値観や新しいスタンダードが定着し対応を迫られる「アフターコロナ期」、この2つを考慮し次の手を打つことが重要になると考えまます。

当会としては、地域の観光協会としてその観光と経済を守るべく、行政や関係団体等と協働し事業を遂行してまいります。代表的なものを挙げまますと、情報発信におきまましては、引き続きコロナ禍において重要な役割を担ってきているホームページの充実を図り、情報発信基盤の拡充を行います。外国人観光客へのアプローチに関しては、インバウンド需要の回復には時間がかかることが予想されるため、現地 PR ではなく、動画作成及び情報発信等を行ってまいります。感染症対策と混雑緩和策として市内 5 箇所に導入された非接触型タッチパネル搭載のデジタルサイネージでは、引き続き混雑情報など安心安全を補完できる情報の配信を行う予定です。来勢されるお客様へのおもてなしの最前線である手荷物事業に関しては、大規模な事業改革を予定しており、より良い事業を目指まます。伊勢市から受託している伊勢市ふるさと応援寄附金 PR 及び発送業務に関しまましては、新しいシステムの導入を予定してまます。

情報発信部会、おもてなし行事部、青年部においては、各担当事業の遂行に努めていただき、中期政策検討部会は引き続き協会運営について協議を進めてまいります。観光交流伊勢会議実行委員会においては、日本観光祈願祭と併せて開催に向けて協議を進めてまいります。

令和 3 年度においては、様々なコロナ対策事業について伊勢市と協働をしてまました。次年度に関しましても、要請があれば協議の上で実施協力をしていきたいと考えてまます。

人流を止め経済を停滞させたパンデミックも、人々の「旅行への思い」までは止めることが出来ず、逆に想いを募らせることになっていると思われまます。この人々の想いを、伊勢へ繋げることが重要であると思いまます。会員の皆様におかれまましては、未だ大変な時期であると思いまますが、協会事業にご理解とご協力をお願い致まます。

公益社団法人伊勢市観光協会  
会長 濱田 典保

## <公益目的事業－旅客誘致事業>

### 1 広報宣伝事業（情報発信部会）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化する中、実際の旅行が困難となっており、インターネットを介した情報発信の需要が高くなっております。当会としても、伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応でき、オンタイムの観光情報を提供できるホームページを目指します。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）を活かしたリアルタイム情報の提供を行います。

日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議については、秋以降の開催を視野に観光交流伊勢会議実行委員会にて協議し、より良い事業を目指します。

観光御師及び観光大使事業においても、参加者の安全を確保しながらの開催を模索していきます。コロナ禍の影響で延期となっている、全国規模の新たなネットワーク組織の立ち上げに関しても、新型コロナウイルスの動向を伺いながら札幌市における組織の最初の立ち上げを進めていきます。

観光PR事業においては、新型コロナウイルスの状況で変更の可能性があります。首都圏、北海道での物産展を絡めた現地観光PRイベントを行います。マスコットキャラクター事業においてはキャラクターを使用した効果的な情報発信に繋げていきます。さらに、青年部を中心としてSNSを活用したリアルタイムな情報発信を行います。

外国人観光客誘客事業に関しましては、現在の状況を考慮し、本年も現地での誘客PRに関しては見送ることとし、コロナ後に活用できる動画の作成やインターネット等を介したPRや情報発信、協会ネットワークを生かしたPRを行います。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供  
(情報発信部会・青年部)
2. SNS等を活用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
3. 観光案内所における観光情報の提供（案内所）
4. 行政との観光パンフレットの協働作成及び配布事業（情報発信部会）
5. 観光物産展等の物品販売事業と連動したPR誘客活動（情報発信部会・青年部）
6. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
7. 観光大使及び御師と連携し、口コミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
8. 第55回日本観光祈願祭の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
9. 第16回観光交流伊勢会議の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
10. マスコットキャラクター事業（青年部）
11. 外国人観光客へのPR事業（情報発信部会）
12. 開花情報配信事業（情報発信部会）
13. 期間限定店舗「ISE SHOP」の企画、運営
14. その他広報宣伝事業

## 2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり会社など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

観光案内所の運営についてはアフターコロナであっても感染症に対応できる対策を万全とし、安心安全を第一に来訪者のニーズに濃やかに対応できる案内所を目指し、更なる改善をしていきます。レンタサイクル事業に関しては、シティサイクル、電動アシスト自転車及びE-バイクの運用を行い、更なる利用促進を図ります。ボランティアガイド事業に関しては、お伊勢さん観光ガイドの会との協議も含め、効果的な伊勢市観光協会のガイド事業を目指します。

外国人誘客（インバウンド）事業では、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据え、インバウンド委員会を中心に海外への情報発信・誘客を考えていきます。

昨年度、感染症対策と混雑緩和策として市内5か所に設置した「非接触型タッチパネル搭載のデジタルサイネージ」では、引き続き市内観光地の混雑状況及び観光情報の配信を行います。さらに、昨年度市内各所に設置したアルコール消毒スタンドを本年度も市内事業者と連携し、設置及び管理を行い、安心安全な観光地づくりを行います。

手荷物事業では、全体的な利用促進を図ると共に、大規模な事業の再構築を進めます。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所の運営（案内所）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
4. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部）
5. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
6. 伝統芸能振興協力（事務局）
7. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）
8. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
9. 伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所における手荷物事業（中期政策検討部会）
10. 観光地感染防止対策事業（情報発信部会）
11. デジタルサイネージを活用した混雑情報の配信（情報発信部会）
12. その他新型コロナウイルスの対策事業（全体事業）
13. その他誘致接遇事業

## 3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究を行います。ナイトタイムエコノミー推進事業においては、観光客の夜間消費を喚起する情報ページなどの作成を視野に入れながら調査と企画を進めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（情報発信部会）
3. 先進観光地の研究、視察  
（青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）
5. ナイトタイムエコノミー推進事業（青年部）
6. 青年部活動と共同（青年部、親会）
7. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
8. その他

#### 4 観光施策及び共催事業（おもてなし行事部、青年部）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力を伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
2. 二見浦海水浴場浜開き式（おもてなし行事部）
3. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
4. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
5. 冬至の奉納（おもてなし行事部）
6. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
7. 伊勢楽市（秋）開催協力（青年部）
8. 御幣鯛奉祝事業（おもてなし行事部）
9. 行政との観光PR企画事業（情報発信部会、青年部）
10. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部）
11. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

#### 5 関連団体への協力及び事業の推進

関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。

以下の事業団体へ協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢商工会議所
  - ・ 中心市街地活性化協議会
  - ・ 伊勢音頭発展会
  - ・ 伊勢うどん協議会
  - ・ 夜の賑わい創出実行委員会
2. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
  - ・ 伊勢志摩学生団体誘致委員会
  - ・ 伊勢志摩観光企画委員会
  - ・ 伊勢志摩フィルムコミッション
  - ・ 伊勢志摩インバウンド担当者会議
3. 伊勢御遷宮委員会
4. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
5. (公社) 三重県観光連盟
6. 伊勢市国際交流協会
7. (公社) 日本観光振興協会
8. 伊勢まちづくり株式会社
9. 伊勢青年団体連絡協議会
10. おもてなしヘルパー推進会議
11. 伊勢地域観光交通対策協議会
12. いせでわDMO (山形県主導事業)
13. 三重県観光・地域活性化協議会 (REVIC)
14. スマートシティ伊勢推進協議会
15. その他団体との協力、連携

## 6 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 伊勢高柳の夜店
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢まつり
10. おひなさまめぐり in 二見
11. 全日本大学駅伝対校選手権大会
12. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦

- 1 3. 伊勢神宮奉納書道展
- 1 4. お伊勢さんマラソン
- 1 5. 松尾観音寺初午大祭
- 1 6. 神宮奉納大相撲
- 1 7. 金剛證寺開山忌
- 1 8. その他 協会が認める観光事業

## 7 市委託事業（おもてなし行事部、中期政策検討部会）

伊勢市から下記3事業を受託し事業を行う予定です。

### 1. 観光案内所

伊勢市観光案内所の運営を通し国内外から訪れる観光客に必要な情報提供や、おもてなしを行います。各種誘客キャンペーン事業にも協力を行い、伊勢志摩地域への周遊拠点の役割担います。

### 2. 二見浦海水浴場の運営（おもてなし行事部）

今年度は護岸工事により二見浦海水浴場の開設は行わない予定です。二見地区を中心とした周遊企画を提案し、伊勢市と協議し状況にあった事業を行います。

### 3. 伊勢市ふるさと応援寄附金 PR および発送業務（中期政策検討部会）

伊勢市ふるさと応援寄附金寄付者への返礼品発送業務等の受託をします。また、返礼品の充実や PR 業務も行います。

## <収益事業>（中期政策検討部会、青年部）

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として下記の事業を行います

### 1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業の今後を検討します。伊勢市駅前ビルにおいては、老朽化による修繕を効果的に実施していきます。

### 2 物品販売事業（青年部、中期政策検討部会）

ECサイトを使った情報発信と収益事業。インターネット通販（ECサイト）の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。

伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政と協働し情報発信や広報の充実や返礼品の商品開拓を図ります。また、管理システム及び物流連携システムを導入し、業務の効率化を図ります。

### 3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行を行います。同時に会員互助事業についても事業企画等を行います。併せて、会員への迅速な情報共有を目指し、会員向け情報がホームページから取得可能であることの周知促進を図ります。さらに、SNS等の活用の検討を行います。

#### <本部事業>

##### 1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言してまいります。本年度はさらに事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図ります。健全な協会運営に役立てます。

地域の観光をマネジメントする組織として、地域DMO（Destination Management Organization）の取得を目指します。

#### <新型コロナウイルス対策事業>

前年度におきましては、伊勢市との協議を行い緊急対策事業として様々な新型コロナウイルス対策事業を実施しました。今年度においても当会が協力できる緊急対策事業に関しては、協議の上実施をしていきます。